

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大牟田市立中友小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒836-0025
大牟田市中友町1-20

E-mail : nakatomo-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 88名 女子 64名 合計 152名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（福祉教育）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

大牟田市のユネスコスクールの共通コンセプトは、『「共生社会の構築」 つながりを理解し、関わりを深める児童生徒の育成』である。これを受けて、本校では、児童の実態や地域の特色・人材などから福祉教育を軸として、地域の高齢者や障害のある方と直接関わる体験を通して、他者との関係性、社会との関係性を認識し、「つながり」「関わり」を尊重する児童の育成をめざしている。このことは、ESDが求めている持続可能な社会を構築する「人」を、地域に根ざした福祉教育で育てようとするものである。

ここでは、総合的な学習の時間を中心に展開している5年生の「子ども民生委員活動」を例に紹介する。

「子ども民生委員活動」では、4月に校区の民生委員さん方からの「子ども民生委員」の委嘱式を経て、民生委員の意義や役割を学び、一年を通じた活動が始まる。そして、グループごとに分かれ、「高齢者の診療所訪問」「高齢者宅への運動会の案内状配布」「敬老会準備」や時間外の活動では、「敬老会への参加」「募金活動」「徘徊SOS ネットワーク模擬訓練」「地域のグランドゴルフ大会参加」など民生委員さんと共に具体的な活動を通して、地域の高齢者との関わりを深める。そこでは、高齢者や民生委員さんをはじめ、地域の様々な人々に自分たちの活動を認められたり、よろこんでもらったりし、自己の有用感を高めることができた。そして、これらは子どもたちの自主的な診療所訪問や赤い羽根運動の協力など、活動の広がりを見せた。

これらの取り組みを通して、子どもたちは地域の人々との「つながり」と「関わり」の大切さを感じ取り、意欲的に活動することができた。指導者側も地域の力を借りて、持続可能な社会の担い手を「子ども民生委員活動」を通して育むのだという、地域に根ざした学習展開の重要性を認識することができた。



「子ども民生委員」委嘱交付式



お年寄り宅の訪問



絵本教室 認知症を学ぶ



自分たちにできることは？



運動会招待状配布



徘徊 SOS ネットワーク模擬訓練動



赤い羽根共同募金活動



中友診療所訪問

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()